

誰もが働きやすい職場環境の構築 工場見学とダイバーシティ推進を通じて

With 副議長 遠藤裕香（JAM新潟・コロナ労働組合）

With新潟は6月19日、Withカレッジを開催した。

例年は女性活動に関わる研修会がメインだが、今回は中央女性協議会でも好評な工場見学を実施。

当日はWith新潟役員のほか、単組の女性組合員含む7単組 16人が参加し、株式会社総合車両製作所（J-TREC労組新津支部）を訪問。工場見学と企業のダイバーシティ推進に関する説明を受けた。

工場見学では、ものづくり現場を間近で見学した。普段乗車する車両をはじめ、鉄道車両の組み立てから出荷検査まで、大きい製品ならではの工程上の工夫や、安全管理、職場環境整備などを学ぶことができた。

ダイバーシティ推進については、女性社員が少ない中でも、誰もが働きやすい職場環境の構築をめざしているとの説明があった。その中でも「各部署長へのリモート勉強会の実施」「育休取得者が育休中に会社と疎遠にならないようWEB情報交換を開催」など、各所で社員の働きやすさに対する工夫があり、大変参考となった。

訪問先のJ-TREC労組からはWith新潟幹事が選出されている。その幹事から女性目線の話や、自身が携わった業務などの話を聞くことができたことも、With活動の大切なつながりだと感じた。

今回のWithカレッジは普段工場見学に行く機会が少ない女性組合員の刺激となり、参加者からは「普段乗っている車両の組立現場を見学できて良かった」との声が寄せられた。今後もWith新潟は働く女性を支え、つながる場所として、活動していく。

